

資料2 授業の中で使えるようになりたい言葉

授業の中で使えるようになりたい言葉 (高学年 Ver.)

つくば竹園学園算数・数学

考え方	演 繹	帰 納 (類推)	一般化 (単純化)	類型化	単元のことば
使うとき	習ったことを使い、順序立てて説明するとき。	きまりに気づいたり、きまりから予測したりするとき。	・いつでもいえることを説明するとき。 ・簡単に説明するとき。	ルールや性質に着目して分類するとき。	具体的に学ぶ考え方、表現の方法。
1・2年	<p>だってね</p> <p>まずだから</p>	〇〇がいえそう		にているところ。くらべてみると	<ul style="list-style-type: none"> ・まえから〇ばん目 (まえから〇つ) ・〇は△と□です。 ・あわせて〇 ・△ふえると ・〇から△とると ・のこりは ・〇は△より□おおい ・〇と△のちがいは ・〇より△おおいはずは□ ・なんじはん ・まる, さんかく, しかく ・はこのかたち, ボールのかたち, まるいつつのかたち ・〇は10が△こと1が□こあわせたかず。 ・〇は何百と何十と何を合わせた数。 ・午前何時何分から何十分たつた時こくは午前何時何分。 ・十の位から1くり上げて くり下げて ・かける数が〇ふえると, 答えは△ふえる。 ・〇のだんでは, 〇ずつ答えがふえる。 ・むかい合っているへん ・たんいをそろえると
3・4年	<p>もし…だったら</p> <p>なぜならば</p> <p>まず次によって</p>	<p>同じように</p> <p>同様に</p>	<p>わかりやすくすると</p> <p>公式</p> <p>図</p> <p>表</p> <p>グラフ</p>	<p>〇〇に着目すると</p> <p>仲間分けすると</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かける数が1増えると, 答えはかけられる数だけ増える。 ・1つ分の大きさ×いくつ分=全体の大きさ ・〇を△人に同じ数ずつ分けると, 1人分は□こ。 ・〇を1人に△ずつ分けると, □人に分けられます。 ・〇÷△の答えは△の段の九九で求められる。 ・等しい (大きさ) ・ () をひとまとまりに見ると, △と言えます。 ・辺の長さに目をつけて見ると。 ・〇を10倍 (1/10倍) すると, 位が1つ上がる (下がる)。 ・小数を整数にして計算すると ・〇を1と見ると, △は□と見られる。 ・位をそろえる
5・6・7年	<p>～という条件では</p> <p>おきかえてみると</p>		<p>いつでもいえる</p> <p>反例</p>	<p>〇〇をもとにする</p> <p>よりよい見方, 考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体積も面積と同じように求められる。 ・1/10, 1/100をもとにする ・〇が成り立つので, △でもできる。 ・〇を△に置き換えることで, □がわかる ・〇〇に着目すると, ・〇に対応するのは△。(図形の対応) ・〇が2倍, 3倍…になると, △も2倍, 3倍…になる。 ・数値や条件を変えて解いてみると ・〇〇の場合, 抜けや重なりがある (ない)。 ・〇〇の散らばりが大きい (小さい)。 ・交換法則 (結合法則, 分配法則) より ・〇〇をxとおく。 ・〇〇は問題に適する (さない)。 ・伴って変わる2つの量 ・yはxの関数である。 ・比例 (反比例) とみなす。 ・$0 \leq x \leq \Delta$ のとき。 ・等式の性質から
8・9年	<p>・と仮定すると</p> <p>〇〇のきまりより</p> <p>これらの条件を満たすことから</p> <p>背理法</p>		<p>ということはつまり</p>	<p>価値づけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同類項でまとめると ・文字□に代入すると ・文字〇について解くと ・文字△を消去すると ・〇〇とすると, △△は□□となる。 ・yはxの1次関数である。 ・yはxの2乗に比例する。 ・定理より ・仮定より〇〇 ・定義より ・定理より ・公式 (性質, 定理) を使って【証明のよりどころ】 ・ひし形は平行四辺形の特別な形。 ・同様に確からしい。 ・〇〇が正しいとすると, 矛盾。よっていつでも正しいとは限らない。 ・～ならば, △△である。 ・〇〇だから等しい (合同だ・相似だ)。